博物館明治村館長　早稲田大学名誉教授

中川武 先生　講演会

なぜ世界建築史か

― 建築史研究の到達点と課題

古代から近現代にかけて，そして日本からアジア，西洋にわたる建築の歴史を広く視野に収め，各地の現地調査とアジアの世界遺産修復事業を経て，４０余年にわたって蓄積されてきた中川武先生の建築史学について，その学問的構想，研究の成果および到達点，今後の研究課題などについてお話しいただきます。

詳細▷ http://tokai.aij.or.jp/

7月 25日（土）
14:00～15:30（13:30 開場）

名城大学 天白キャンパス 共通講義棟北 3階 301 教室

中川 武 （建築史家）
1944 年富山県生まれ。博物館明治村館長。早稲田大学名誉教授。工学博士。40 年以上にわたり、比較建築史、文化財建造物の保存修復技術などの研究を行う。
エジプト・ミニピラミッド建設実験に参加以来、アジアの古代建築の調査を継続。1994 年より日本国政府アンコール遺跡救済チーム団長。2011 年より早稲田大学東日本大震災復興研究拠点・自然文化安全都市研究所所長。主な著書に、『建築様式の歴史と表現』、『日本の家』など。

名称：中川武 先生 講演会
日時：2015 年 7 月 25 日（土）
14:00～15:30 (開場 13:30)
参加費：無料
定員：約150名 (申込不要、先着順)
開場：名城大学共通講義棟北 N301
アクセス：名古屋市営地下鉄
鶴舞線塩釜口下車
1 番出口より徒歩 5 分

日本建築学会東海支部主催